

# ボランティア 交差点

## 大学で学んだ「福祉の理念」を 私たちの暮らす地域に実現したい

身体障害者補助犬の同伴状況調査を通してゼミ生たちと取り組んだ活動

### 久留米大学文学部社会福祉学科 上原研究室とゼミ生たち



盲導犬支援バザーに参加したゼミ生たち

#### ご存知ですか 「補助犬」

「補助犬」。耳慣れない言葉ですが、ご存知ですか。盲導犬や介助犬、聴導犬など身体の不自由な人の体の一部として特別に訓練された犬のことを総称して「補助犬」といいます。

この「補助犬」については平成14年に施行された身体障害者補助犬法で規定されており、店舗や交通機関は補助犬を受け入れるよう

義務付けられています。

久留米大学文学部社会福祉学科・上原研究室（上原紀美子准教授）では「学問としての『福祉』をどう実際の社会に実現していくか」というゼミのテーマの一環として、西鉄久留米駅周辺の商業施設における補助犬の同伴受け入れ状況を調査してきました。

#### 意外と少ない 「同伴可」

調査から

見えてきたものは、今日でも容易に補助犬を同伴できない実態でした。「アレルギー」など他のお客さんの迷惑「暴れないか不安」といったことや「補助犬法を知らない」といった「制度や



【ほじょ犬マーク】

補助犬についての理解不足から簡単に拒否されるケースが多く、全国的には同伴拒否が巧妙化・悪質化する傾向のあるものの、久留米市も非常に遅れている」（上原談）といわれています。

#### 理念の「実現」のために

上原研究室では、実態調査報告をまとめる一方、調査で「同伴可」であった事業所に対し、ゼミ生たちがあらためて厚生労働省が推進している『ほじょ犬マーク』のステッカーをお店の入り口に貼ってもらう取り組みを行っています。

また、大学近くの福祉施設と共同で盲導犬支援バザーに参加し、補助犬についての理解を呼びかけるなど、



ほじょ犬マークのステッカーを貼ります

#### ■問い合わせ

久留米大学文学部  
社会福祉学科  
上原研究室

☎0942・43・4411  
(大学代表)